

LABV Local Asset Backed Vehicle : 官民協働開発事業体



山陽小野田市が官民連携で取組むPPPの手法は

LABV

【特徴1】

自治体が公有地を現物出資

し、民間事業者が資金出資して作った事業体が、公共施設と民間収益施設を複合的に整備する

【特徴2】

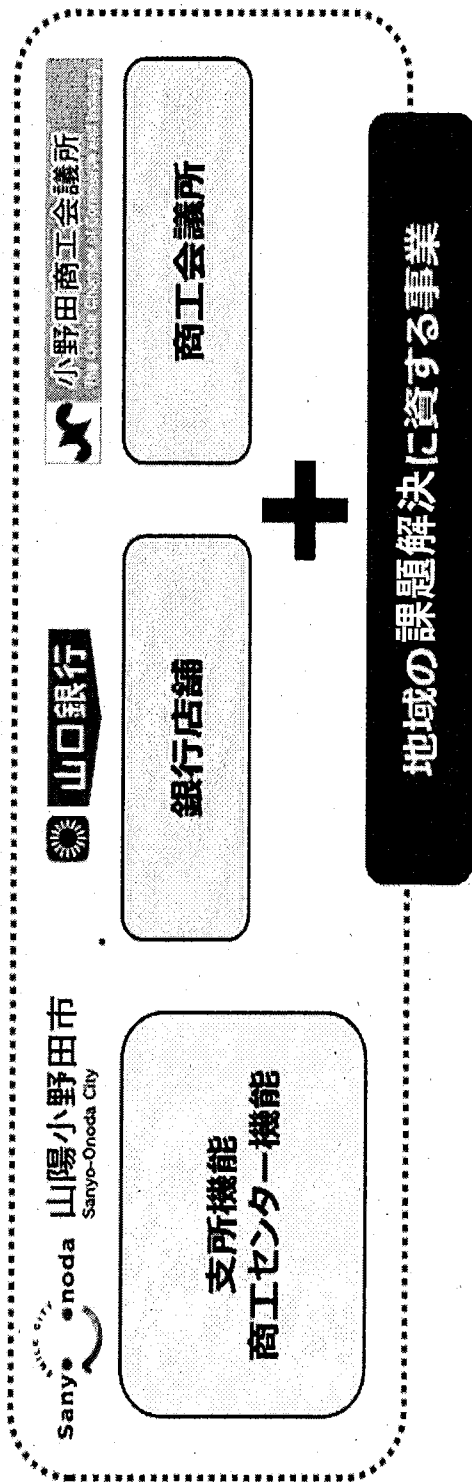
PFIが特定の公共施設を対象とするのに対し、

LABVは複数の公有地等

に商業施設やオフィスビル等の民間収益施設も組み合わせた開発やマネジメントまでを行う

公的不動産を核にしたまちづくりのために官民の長期的なパートナーシップの枠組みをつくる LABV等の新たな手法についても活用を積極的に検討すべきである。(PPP/PFI推進アクションプラン：令和3年度 改訂版)

LABV 経緯②



・「単なる複合施設建設ではなく、この地域の課題解決に資する拠点開発を行い、エリア内に波及させていくプロジェクト」を目指すという共通理解を3者の間で得た

・地域課題とは「賑わいの再創出」

・市役所の移転、大企業の本社移転で昔の賑わいが失われてしまったエリアの復活は、立場の違いを超えての悲願

エリアマネジメントに取り組む → **LABV**

LABV 【特徴1】自治体が公有地を現物出資

